

メイヨークリニック研修に参加した方々からのレター

メイヨークリニック体験記

勝占智子
(徳島赤十字病院)

1 自己紹介

現在、救急外来で勤務しています。看護師歴は9年目です。

2 なぜ木村財団のメイヨークリニック研修に行こうと思ったか

国際救援要員として登録、活動の経験があり海外の医療事情に興味があったのがきっかけです。メイヨークリニックは、質の高い医療・看護を提供するということで知られていますので、そのことについても学びたいと思いました。

3 メイヨークリニック研修で学んだこと

(1) メイヨークリニックでのある日の研修状況

私が初日に訪れたのは救急外来でした。朝7時半に何うと、まずはナースパートナーさんから施設を案内していただきました。メイヨーの救急外来はまるで海外ドラマの“ER”のような設備でその規模の大きさに驚きました。全65床あるベッドには救急車・ウォークインでどんどん患者さんがやってきてすぐにいっぱいになりました。案内をしてもらった後は、お昼までナースパートナーさんに付き添い実際の看護の様子を見学させていただきました。救急外来で行われることの手技などに大きな違いはありませんが、医師・看護師だけでなく検査技師や薬剤師など他の職種も専属に配置されているので、看護師は検査や移送に時間を費やすことなく、その分患者さんの傍にいる時間を長く持っている印象を受けました。救急外来の滞在時間は短いですが、その中でも看護師は患者さんに一番近く長くいる者として今何が必要かアセスメントしていました。全人的に患者をとらえるという看護の基本を改めてみる事が出来ました。救急外来で勤務していると、身体的に危機的状況な場面に関わるが多いため、ついそちらばかりに目を向けてしまいがちだったのですが、本研修を通して、様々な面から患者さんを捉えて看護できるようになりたいと思いました。

(2) メイヨークリニックで学んだこと

全職員が「医療や看護の中心は常に患者にある」と考え、それを実行している姿が印象的でした。また、多くの看護師は次のステップを考え、働きながら大学院や専門看護師取得のために勉強している姿を見て、自立した看護を提供

するために日々知識・技術の向上を行うことが大事だということを改めて学びました。

(3) メイヨークリニックでの研修期間中、休日は何をしていたか

他の研修生とともに観光に行ったり、ショッピングに行ったりしました。メイヨーの担当者の方々もミシシッピ川へ観光に連れて行ってくれました。

4 メイヨークリニックから帰って自分の中で変わったことや所属医療機関への還元

所属施設には報告会や病院新聞に掲載したりと、今回の研修について伝える場を設けて頂きました。

自分自身の中の変化では、以前よりさらに、ケアを提供する側として「なぜこれをするのか」と根拠をもって患者に接するよう心がけたり「本当に患者にとって必要なのか、それを望んでいるのか」と立ち止まって振り返るようになりました。

5 英語力をつけるためにどのように勉強したか

聞き取れなければ質問が出来ないと思ったので、少しですが日常生活を英語のある環境にしました。具体的には、朝支度しながら BBC を流したり、TV を見る時間も海外ドラマに変えてみました。しかし、十分ではなかったように思います。

6 メイヨークリニック研修への準備と心構え

自分は何を学びたいのかということと、学んだことをどう今後の自分自身と所属施設に活かしていきたいのかということを確認にしていくと、素晴らしい研修になると思います。あとはその手段としての英語力を身に付けておくことだと思います。